

# めだかの学校たより

平成 24 年 11 月 1 日

第 78 号

学舎：東久留女木新田観音山

「みどりの郷キャンプ場」内

事務局：静岡県磐田市

家田 529-20

TEL0539-62-6691

## 校長訓話

第七十八回 校長 池田 タキ江

「私とめだかの学校」

浜名湖花博のボランティアリーダーの総会の帰りの電車の中で、今村純子さんが「めだかの学校」のお話をとても楽しそうにお話してくれました。今村さんと別れたあと島田までの電車の中で、こ一緒した池谷俊裕さんと「めだかの学校」って何か面白そうだね。一度のぞきに行こうか」と言うことになり、車で二時間ぐらいかけて行きました。地図を見ながら行っただけですが、なかなか場所がわからなくて、やっと学校に着きましたら、地図がまちがって印刷されていたようです。

じ趣味をもっている人がいましてとてもうらやましく思いました。また、昔のなつかしい蓄音機を持って来てレコードを聞かせてくれたのにはびっくりしました。

給食の時間はお当番さんが全部手作りというところで生まれて始めて食べる物があったり、「梅干しをらっきょうをつけるお酢で作った」と聞いて、家に帰ってすぐに作ってみました。みなさんのお話を聞いていますと、私達島田から2時間ぐらいかけて行きましたが、おどろいたことにそれよりも遠く和歌山県や長野県の人達もいてびっくりしました。お話しをしている時のみなさんのお顔は、とても生き生きしていて、年には見えなく若くてびっくりしました。

花博のボランティアの研修会の中には、花の生産者や、オーブンガーデンなどたくさん見学させていたいただきました。お庭を見せていただいたあるお宅では、ご主人と奥様の感性ががうとうとということで半分はご主人、半分は奥様と別々にデザインをしているお庭もありました。個性のあるお庭ばかりでとても素敵でした。また花博開催

中は、押し花・切花・木の実のアレンジ教室などいろいろやらせていただき、発想力豊かな子供たちの素敵な作品もたくさん見せていただきました。「めだかの学校」も島田からの人数もふえて、往復4時間の車の中ではおしゃべりも楽しくあつとゆう間についてしまします。まるでもう一つの「めだかの学校」のようです。これからも元氣のある限り「めだかの学校」に出席したいと思えます。



※浜湖畔の花博跡地は花を楽しむ人たちが賑わっています。



※浜名湖花博は、2004年4月から10月まで浜松市村橋の浜名湖畔で開催され、その跡地は「モノの庭」(有料)を除いて「浜名湖ガーデンパーク」として無料開放されています。

### 「全国まちづくり交流会」

別刷り4頁特集号発行

## めだかの学校伝言板

——第78回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校 長／池田タキ江

教 頭／斉藤昭

用務員／塚本佳男

給食係／野嶋一男・鈴木祐之・大谷香代子・加藤ひとみ  
大久保陽・牧野久子・西川裕子・伊藤英雄  
服部守孝・石野省三・本島慎一郎・本島真弓  
渡辺三ツ子(チーフ)

<学舎>静岡県浜松市北区引佐町東久留女木観音山  
みどりの郷キャンプ場 TEL なし

開校日／平成24年12月7日(金)6:20PMより

受 付／寺田幸宏・村田徳治・大場敬子

斉藤昭(後見人・教頭兼務)

20期通年テーマ『めだかの学校20年 あらたな旅立ち』

今回のテーマ<『なかま』という人と人とのつながり>

- <時間割>
- 1時間目 社会 大島たまよ先生  
「第2のふるさと インドを旅して」
  - 2時間目 自然科学 服部守孝先生  
「東海地震を予知する男?舞阪から森町へ」
  - 3時間目 倫理 村松達雄先生  
「被災地南三陸に学ぶ」
  - 給食の時間~[しし鍋料理]からだも心もほっかほっか~  
10:15 閉校

# めだかの動き

## 泳ぎ回るめだかたち

### ■第10回全国まちづくり交流会

イン鳴子

9月28日、30日まで宮城県大崎市鳴子温泉で開催された全国まちづくり交流会に参加させていただきました。

この全国まちづくり交流会は第1回が愛知県の足助町で開催され、全国各地で町づくりの実践をしている仲間が集う会として今回が10回目となります。昨年3月11日に起きた東北大地震の復興を応援しようとして宮城県で開催されました。

28日の朝7時にめだか生10名がマイクログバスで出発、夕方の6時にやっと鳴子温泉に到着、前夜祭に何とか参加できました。29日は南三陸町の被災現場を視察、防災センターでは町民に避難をアナウンスし続けた女性職員達が津波に流され、町長も防災センターの屋上の階段の手すりになしがみついて奇跡的に助かったとのことでした。市街地は震災と津波により町役場、病院など商店街や漁港施設も全て流失、現在も復興のめどは立っておらず、仮設の役場や病院やプレハブ商店街がやっとスタートしたばかりでした。

午後からは「震災後の町づくりの行方」テーマにパネルディスカッションが開かれ、石巻市「民宿のんびり村村長」の坂下清子さんは「今だに全くやる気がでない」との本音の話をしていただきました。来年の第11回は森町で開催することで全国の仲間から承認され、全体会終了後の交流会では、森町から来たとのことである人たちがからエールをいただきました。30日は石巻と雄勝町を視察する予定でし

たが台風が静岡直撃の情報に夜中の午前1時に鳴子温泉を出発、台風の直撃前に全員何とか無事に帰宅いたしました。

(榊原淑友メダカ)

### ■山田町・大槌町を訪ねる

9月9日(日)毎年恒例の角館のお祭りツアー、その一日を使って東日本大震災の被災地、山田町・大槌町を訪ねました。テレビで見たあの衝撃的な映像、自然災害というよりもむしろ天変地異といった感じの大津波。別にボランティア活動を行うわけでもありませんでしたが、その様子をこの目で確かめてみようと思っていました。

目に飛び込んできた景色、震災より一年半も経つというのに、すべてを流された町はまだそのままでの状況でした。山田町では土台だけ残り跡形もなくなった家々の跡、その中でプレハブの仮設店舗「復興食堂」ラーメン一杯450円を直接お店の人に手渡した時、何となく「ほっと」した気分。大槌町で大勢の犠牲者を出してしまつた役場跡へ、献花台に手を合わせながらその恐怖感に鳥肌が立つ思いがしました。震災から早や一年半、復興はまさにこれからが正念場、時間と共に薄れてゆく被災地への思いを、あらためて強くすることができました。

(鈴木武史メダカ)

### ■「里山列車」と「出会いの小径」

NPO法人元氣里山企画の「里山列車」戦国の旅は、十月十四日総勢五十名の客を乗せて天竜浜名湖鉄道(天浜線)の天竜二俣駅と新所原駅間を往復した。劇団砂喰社による演劇は車内とホームを使い、まるで立体的な芝居を見ている感あり。又徳川家康と二俣にゆかりのある長男信康他について学ぶ良い機会となった。復路は懐かしい歌声の交流会となり、アツと言う間

の三時間であった。

十一月三日は第四十回天竜産業観光まつりが天竜区二俣のクローバー通り商店街において盛大に繰り広げられた。二俣には、かつて栄えた時代の面影を残す露地が多数あり、我々は銀座通りと呼ばれた裏通りに三回目の「出会いの小径」を仕掛けた。これまでと異なつた点では、エリアを天浜線の二俣本町駅方面にまで延ばしたこと、町かどライブの実現によって、レトロな小径に若者のさわやかな風が吹いたことである。

NPO法人元氣里山は、中山間地域の活性化を目指し様々な活動を展開しているところであるが、大切なことは経済が回る仕組みを如何に構築するか、住民が希望をもって安心して暮らせる地域とするために行政を含め他団体と如何に力を合わせるかである。

今回、めだかの仲間達にも多数ご協力いただいた二つのイベントを終え、心からの感謝と共に、沢山の反省を今後活かしたい。

(本島慎一郎・真弓メダカ)

### ■第15回遠州森町展

「町並みと蔵展」が開催されます。

第15回「町並みと蔵展」が11月24日(土)25日(日)の2日間、森町中心市街地を会場に開催される。

今回は森町に新東名の開通と町の入り口である森川橋が完成、また、秋葉鉄道の廃線から50年の節目に当たることから、テーマを「秋葉馬車鉄道から新東名」として近代森町の発展のキッカケとなつた秋葉鉄道と人物にスポットを当て新東名を活かした森町の将来を考えます。

問い合わせ、090・1472・6189

### ■静岡発。青春ファンタジー映画「果てぬ村のミナ」静岡先行ロードショー

水窪を舞台にした映画、静岡県の北西部、険しい斜面を切り拓いた集落は、天空の村と呼ぶにふさわしい絶景だが、過疎と高齢化が著しく進んでいる。

失われつつある地域独自の言語や文化を後世に残したいという強い思いで本作はスタートした。という。「めだかの学校」の中村明男メダカも強い思いでバックアップ。12月15日(土)浜松シネマイーラ、静岡シネマ・ギャラリーなどで先行ロードショー。「めだかの学校」有志も応援している。

是非鑑賞を！。問い合わせは中村明男メダカ053・449・3566へ。

### ■JR磐田駅前1月3日「新春モチツキ会」ちんどんもーい。

JR磐田駅前前年明けの1月3日「新春モチツキ会」をとおか「とれた元氣村」のみなさんの協力で行います。磐田市観光協会の事務局長になつたバラさんへエールだつて。元氣村役員の深澤明男メダカの発案で。

私ももと浜松花蝶ちゃんの藤田潤吉、久枝メダカからのチンドンも応援に。磐田市のゆるキャラのしっぺい君も新年のごあいさつに。みんなが集まつて笑顔で新春を祝いましょう。詳細はこれから。是非みなさんもお出かけを！ (バラメダカ)

### ■開校日を前に学舎をキレイに！

11月24日(土)午前9時から学舎の清掃をします。草刈り、枝打ち、調理場とトイレの清掃。落ち葉がいっぱいたまっているかも。清々しく開校するために手を貸して下さい。お弁当持参で。

●来年4月からの  
新しい学舎が決まりました

現在使用している学舎「みどりの郷キャンプ場」が、来年3月を以て廃止になるため、新しい学舎を探していましたが、榊原淑友メダカ力の尽力で、周智郡森町一宮の地域拠点施設「一宮総合センター」に決まりました。榊原淑友メダカ力の案内で、石野省三メダカ、伊藤英雄メダカ、渡辺三ツ子メダカが見に来てくれました。石野メダカ曰く「三重丸」事務局の私も外観だけですが見てきました。隣接には幼稚園、老人ホームの愛光園、雇用促進住宅などがあり地域の人への配慮が必要で、借用は2ヶ月前申し込みの単発使用です。近くに服飾守孝メダカがおり、舎監として目を光らせてくれます。「好意いただいた自治会長さん、住民の皆さんに感謝しての開校となります。『来た時よりも美しく!』」と協力よろしく!

『人・ひと・ヒト...だより』

●三重県津市の杉谷知也メダカ。第77号で、そろそろパパになる頃だが...と書いて、出産予定は来年の1月だつて、ごめん。●浜松市雄踏町の藤田潤吉・久枝メダカ。磐田市の竜の子幼稚園で、子どもたちと一緒にちんどん演奏。もちろん先生の富田久美子メダカもやりましたよ。●浜松市引佐町の鈴木計芳メダカ。NHKテレビローカル番組「山間地のがんばる茶農家」に出演。緑茶を一定期間冷蔵貯蔵すると味や甘さが増すと、引佐町竜ヶ岩洞に貯蔵した茶葉を9月に出して研究者に試飲してもらったところ、効果はあったがもう少し貯蔵した方がいいと。がんばれ! 山間地の茶農家さん。

●袋井市の湯浅明メダカ。難病と闘っている。リハビリに余念なし。車椅子でも「めだかの学校」に行きたい。学舎が近くなるというけれど...と。来年4月からの新しい学舎は車で10分そこそこの森町一宮総合センター。車椅子での出席は大変だけれど、良かったね。

●藤枝市の横山浩史メダカ。日本スポーツマスターズ高知での全国大会に、静岡県代表でサッカー競技に出場。昨年は準優勝だった。さすがサッカーの藤枝。桐畑工も最高ですよ。どう、婚礼衣装と桐たんす。

●浜松市の間瀬亮太メダカ。与進ミニバスケットボール少年団女子の監督2年目。激戦の市内大会をなんとか勝ち抜き、チーム目標の西部大会に出場。西部大会は思うような結果は出せなかったが、子供たちは頑張った。つて、フレイフレイと進。

●豊橋市の金子芳美メダカの友人、早川洋介さん。方広寺でお地藏さんや建物などを油絵で描いている。来年2月の「めだかの学校20周年記念」に合わせて、10数点の絵を展示したい、と。いいねえ、方広寺の許可をもらいました。1ヶ月ほどやって欲しい、だつて。

●愛知県東栄町の伊藤静男メダカ。ハーブ&クラフトのお店をやっていると書いていたら静岡新聞の三遠南信の囲み記事に、NPO法人「てほへ」の理事長と。「てほへ」の母体は東栄町を本拠に活動する和太鼓集団「志多ら」。この集団を支え続けていたのは新城市職員の清水良文メダカ。今はNPO法人化した彼らを支援するのは伊藤静男メダカ。後期高齢者にもかかわらず、「和太鼓志多ら」の全国ツアーで動き回っている。来年は浜松地方で公演したいと。またまた嬉しい、再入学。

●宮城県登米市の工藤利夫さん。今回の第

10回全国まちづくり交流会で10何年かぶりの再会。白髪も増えて...「手紙を出したけど返って来てしまった」と。私は私で、東日本大震災で心配していたが連絡先が分らず。地域づくり団体全国研修交流会以来の再会に思いもひとしお。共に元気でよかつたなア。「めだかの学校20周年」にはぜひ出かけてきて欲しいですね。

●香志野市の元山梨県立大教授の市原実メダカ。めだかの学校にはなかなか出席出来ない。こちらも全国まちづくり交流会で一緒に。次回開催地のあいさつする「めだか生」の写真をすぐ送ってくれました。出席できなくても「めだかの学校」への思いは深い。うれしいですね。

●袋井市の山中幸子メダカ。「足腰痛くて、全国まちづくり交流会へのバスガイドできなくてごめんね」と。観光地の情報誌を送ってくれました。

●磐田市の鈴木正士メダカ。磐田市敷地の豊岡東公民館で、11月18日(日)に開かれる「豊岡東公民館まつり」で、今年も手打ちそばのお店を出す。応援には松本芳廣メダカ、石野省三メダカ。カレーの「めだか亭」では渡辺三ツ子メダカが腕を振る。うー「ヒーショップ」は榊原明美さん(バラめだかの奥さん)。昨年実行委員長の田村進治メダカ、前館長の榊原幸雄メダカ、村田徳治メダカは、磐田市のジュピロマラソン本部付きで参加できず。中村明男メダカ、伊藤英雄メダカも。手がたりない。求む! めだか応援団。0539・62・6691へお電話を!

●長野県天龍村の関京子メダカ。平成24年6月に発足した三遠南信住民ネットワーク協議会の南信地区の代表で大忙し。そんな中、三遠南信「こが楽しい事典シリーズ」全5巻の制作に尽力。編集委員には関京子メダカと水島加寿代メダカから。1巻

の祭り事典と2巻の駅&城跡&道事典は発行。定価1050円(税込)。3巻の道の駅&温泉事典は制作中。販売など協力をよろしく、と。問い合わせは、02660・32・3460又は02665・25・2333みらい企画(飯田市)へ。

※今回は紙面の都合でこれまで。次回はあなたかも...。ご連絡を

《めだか春秋》

花井 孝 (静岡市清水区)

「俺の人生 ぱくりうた」

いま青年は荒野をめざす泣いてくれるなおっかさん俺の生き方自身で決める

男のいのち純情は 修羅の渡世(せかい)に身を委ね。後は御仏胸三寸 浄土は遠くなりにけり。燃えてかがやく金の星。今やダンテやハイネの熱も失せ ヘッセ サルトル忘れたサルトル 芭蕉や利久のワビ サビさえも 赤く錆び果て 近松、西鶴の才覚は無く、金もいらなきや名もいらぬ 嗚呼 人生無常 男心は男でなけりや分るものかと言いついて行く俺は 花も嵐も踏み越えて 行くが男の生きる道 サヨナラだけが人生サ。元青年は いま好命をめざす。

荒野から好命 これが「オチ」 言いたくて。面白いと思うんだけれど...

※そう 面白いので20期生の申込書から引用させて頂きました。勿論 本人には内緒です、お赦しを! (バラめだか)

# トピックス

## ■2つの「めだかの学校」 20周年記念イベント

### ① めだかの学校20周年同窓会

日時：25年2月9日（土）13時～10日（日）11時30分 会場：浜松市北区引佐町奥山方広寺。会場は申し込み済みです。実行委員長は、一回生の石野省三メダカ。近日中に実行委員会を開いて内容を決定していきます。実行委員希望の方は事務局へ。

### ② めだかの学校開校80回及び20周年

この記念事業は、第11回全国まちづくり交流会と合同で行う予定です。主催は「第11回全国まちづくり交流会実行委員会（仮称）」共催おもしろ人立「めだかの学校」。

日時：25年6月7日（金）11前夜祭、8日（土）交流会（基調講演など）、9日（日）解散、自由行動。会場は、森町一宮の小國神社ほか、実行委員長は榊原淑友メダカを予定、実行委員希望の方はこちらも事務局へ。

共に大きな事業ですので、全員が実行委員のつもりで協力ください。（バラ）

### ■事務局だより

観光協会のお休みの時は、明美さんと一緒に浜北の県立浜北森林公園に行きます。一時間半位歩きます。11月に入り、木々も少しづつ紅葉をはじめました。それにしても茶色の葉が目立ちます。松喰い虫の被害

書にあった赤松です。あと10年もしたら「このままでは全部枯れ死するかも」と。それほど被害の早さです。私の住む家庭は柿色。今年は夏の暑さと少雨で、小粒だけど糖度が高い、とのこと。その甘さに絡めて11月11日には獅子ヶ鼻トレッキングコースを使って婚活イベント。私も赤い糸のお手伝い。磐田市観光協会は「なんでも屋さん」です（笑）。

さて、第77回めだかの学校は、9月7日（金）。20期最初の学校。校長は田村進治、教頭尾上美智子、用務員塚本佳男、郎だが都合で欠席。代役は鈴木祐之。通年テーマは「めだかの学校20年 新たな旅立ち」。はじめに「建学の精神（二ころ）」を唱和。校長訓話の田村校長も、「建学の精神」に触れながら自らの思いを語る。期初の授業は1班7～8人、7班に分かれて給食をいただきますながら話し合う。各班どんな話かなされたか。持ち時間2分で発表。発表者は田村進治、山中幸子、青藤昭、服部守孝、鈴木真弓、鈴木一記メダカだったか。思い出せなくてごめん。全員の意見を話す人、自分のことを主体にしゃべる人と。まあいろいろでした。私語飲食全て禁止の次回3役の発表。校長池田タキ江、教頭青藤昭、用務員塚本佳男。校長を助けるのは同郷人の塚本メダカ。教頭几帳面の青藤メダカ。時には異色の組み合わせも楽しみ。生徒の皆さん、あらためて「建学の精神（二ころ）」に、初志の心を読み取ってほしい。

第78回「めだかの学校」の職員会議を10月18日（木）、磐田市のとれたて元気村「味里」で、校長池田タキ江、教頭青藤昭、用務員塚本佳男の3役も出席し開く。78回の授業、2月の20周年記念イベント、第10回全国まちづくり交流会の報告など話し合うことが多い。はじめに第10回全国まちづくり交流会の報告を村松達雄メダカ

がプロジェクトを使って解説。1年半以上上たつのに復興の遅れのひどさが目立つ。そんな中にも復興の思いが感じられるのが嬉しい。（※メダカの便り4頁特集号で見てください）。ついでに新学舎が森町一宮総合センターに決まったことを報告。地域コミュニティの集会所であるので地域への配慮が必要、と。来年2月の20周年については、早急に実行委員会を開いて検討することに。来年6月の開催予定の第11回全国まちづくり交流会は、めだかの学校の開校80回と合わせて、森町の人たちと実行委員会をつくって開催することに。因みに日程は、25年6月7日（金）8日（土）9日（日）の3日間。7日は前夜祭。最後に第78回めだかの学校の授業について話し合う。毎回のことながら、ああでもない、こうでもないといいつつ・・・「時間目社会」「第2のふるさとインドを旅して」「大島たまよ先生。二時間目自然科学「東海地震を予知する男」舞阪から森町へ」「服部守孝先生、三時間目倫理「被災地南三陸町に学ぶ」村松達雄先生ほか。テーマは時間がなく事務局で引き受けることに。給食は「しし鍋料理」。塚本用務員、「榊原さんが独断でやっていると思っていたけど、こんなに大勢の人で話し合っているのにはびっくり」だった。

■常態化してしまった発行日遅れ。ごめん 毎回発行日が遅れているので、1日を15日にしようと思ったりすることしきりと言ってもねえ。伊藤英雄メダカ、鈴木武史メダカ、田村進治メダカ、榊原淑友メダカ、本島慎一郎メダカ、村田徳治メダカ。締めの間淵亮太メダカのみなさんありがとう。発送などのお手伝いの明美さん感謝

■第20期の受け付けは締め切りでしたが、随時受け付けています。第20期は、平成24年9月1日から25年8月31日までです。随時受け付けはしていただきます。未手続きの人は、申込書に1000円を添えて郵送してください。未提出の生徒には再度申込書を同封していますが、今回を以って手続きのない生徒は名簿からはずれ自主退学となります。ご注意下さい。新しく入校希望をされる人がいましたらご連絡ください。資料と申込書を送ります。

■めだかの学校だよりの原稿を！ 次回の発行日は平成25年2月1日、原稿の締切りは1月20日です。あなたの活動予定やイベント、活動実践など送ってください。郵便かFAXで。メールの方は、[mabuchi-trd@yr.tnc.ne.jp](mailto:mabuchi-trd@yr.tnc.ne.jp) 間淵亮太090・5009・0986です。（メールの方は割付の関係もあるので「一報を」）

■めだかの学校の事務局 〒438-0105 静岡県磐田市家田5-29番地20 榊原幸雄方 TEL0539-62-6691（FAX同じ） ※学舎「みどりの郷」には電話はありません。連絡は事務局まで。 携帯080-1612-9130

